

【総務省】データ利活用型スマートシティ推進事業※

※令和2年度予算件名は、「より高度なスマートシティ実現に向けた都市OS実装支援事業」

【令和2年度予算(案):2.2億円(うち補助金額:2.0億円)】

各都市・地域の課題解決を促進するため、関係府省で構築するアーキテクチャに基づく都市OSを実装したオープンなプラットフォーム上で、観光、防災等複数の分野でデータを利活用してサービスを提供するデータ利活用型スマートシティの構築を関係府省と一体となって推進する。具体的には、地方公共団体や民間事業者等の初期投資・継続的な体制整備等に係る経費(機器購入、システム構築及び体制整備に向けた協議会開催等に係る費用)を補助する。



- 補助対象:地方公共団体等
- 補助率:1/2
- 平成29年度から開始

国内の事例:

- 札幌市(分野:観光、交通、健康) 人流情報と購買情報を活用したマーケティング、走行情報を活用した除排雪最適化、行動情報から健康増進情報のpush配信等を実施。
- 高松市(分野:防災、観光) 水位情報の可視化による行政の災害対応の効率化、動態データの活用による観光マーケティング等を実施

